

2011年11月25日

いすゞ、インド事業の取組について

－SML Isuzu Limited 社への出資比率引き上げ－

いすゞ自動車株式会社(以下「いすゞ」)は、中期経営計画に基づき、急拡大するインド市場において、SML Isuzu Limited (以下「SMLI」)の商用車の生産・販売網の充実を図る目的で、SMLI への出資比率を引き上げることといたしました。

いすゞは、従来より SMLI への 4.0%の出資を行っており、インドにおけるいすゞ製中型バスの生産・販売を行ってまいりました。

今回、インドでのいすゞブランド商用車の浸透を図るためには、SMLI との関係強化が必要不可欠であると判断し、いすゞの出資比率を 15%まで引き上げることといたしました。

SMLI との関係強化により、いすゞ製コンポーネントを搭載したインド専用商品の投入、SMLI 機能強化を目的とした開発及び販売要員の派遣、更に 2016 年までの 3万台販売体制に向けたディーラー網の再構築等を実行していきます。

なお、出資比率引き上げにあたっては、SMLI に 54.96%を出資する住友商事株式会社(以下「住友商事」)より、同社保有株式の一部を購入することとします。

また、出資比率の引き上げと合わせまして、常勤取締役 1 名、非常勤取締役 1 名の合計 2 名の取締役を SMLI へ派遣いたします。

<SMLI 社の概要> (出資比率変更後)

会社名	SML Isuzu Limited
所在地	インド共和国パンジャブ州
代表者	渡辺 豊
主な事業株主	住友商事 43.96%、いすゞ15.0%
事業内容	商用車の製造、販売
資本金	144,788 千インドルピー

以上